

第 **9** 位

19426 P

前回4位

5位DOWN

戦後で唯一、牝馬のダービー馬

ウオツカ

「記憶に残る」馬が塗り替えた多くの「記録」

ウオツカは、まさに「記録より記憶に残る」馬だ。
日高の老舗オーナーブリーダーのもとに現れた日本ダービー馬タニノギムレットと、その娘という出自。ダイワスカーレットとの、どこまでもハイレベルなライバル関係。何度も敗れ、不振にあえぎながら、そのたびに劇的な

復活を遂げた物語性。ウオツカの競走生活は、2000年代後半の同時代を生きたファンに記憶に、深く濃い思い出となって刻まれている。

ただ、それはウオツカが「記録」とは無縁だったという意味ではない。その逆で、当時のウオツカはさまざまな記録、とりわけ牝馬の記録を片っ端から塗り替えた馬だった。
レコードは2度、記録した。阪神ジュベナイルフリースの1分33秒1は

マイルの2歳レコード。それまでのレコードを一気に0秒8も更新した天皇賞(秋)の1分57秒2は、そんな凄まじいタイムでわずか2秒差の接戦を演じたダイワスカーレットの存在とともに、見る者の言葉を失わせた。

牝馬の安田記念連覇はグレード制導入以降で初だったし、日本調教牝馬のジャパンC制覇は史上初の快挙だった。芝のG1級競走7勝は牝馬も含めた最多タイで、牝馬としては、牝牝混合

G1級競走5勝とともに歴代トップの数字だった。また13億円を突破した総取得賞金も当時の牝馬史上最高だった。こうしたレコードや記録は、その後、他の馬に並べられたり、抜かれたりした。でも、まだ破られていないものもある。

2年連続で年度代表馬を受賞した牝馬は、今もウオツカだけだ。有馬記念ファン投票1位の3歳牝馬も、3年連続で1位の馬も、まだ出ていない。そしてもちろん、牝馬による日本ダービー制覇。戦後で成し得た馬は、いまだにウオツカしかいない。
3年前のサトノレイナスや、今年のレガレイラ。強い牝馬が現れてダービーに挑戦するたびに、僕たちは何度でも胸に呼び覚ます。あの気品溢れる馬体と、闘志に満ちた走りの記憶を。

VODKA's Impressive Scenes

S.Suzuki



史上3頭目、64年ぶりの快挙
2007年日本ダービー(JpnI)

桜花賞2着から陣営はオークスではなく日本ダービーを選択。上がり3rd33秒0の末脚で牡馬を圧倒。牝馬によるダービー制覇を果たした

K.Ishida



歴史的名勝負をハナ差で制す
2008年天皇賞(秋)(GI)

宿敵ダイワスカーレットに同年のダービー馬ディープスカイなどが揃った一戦。4着までタイム差なしの大接戦をレースレコードで勝利した

Photostud



3度目の正直で念願の勝利
2009年ジャパンC(GI)

3歳時4着、4歳時3着。今年こそはと挑んだジャパンC。接戦を制すると同時に、この勝利で東京競馬場古馬芝G1完全制覇を達成した

年代別・性別ランキング

●10代……16位	●50代……9位	●男性……9位
●20代……13位	●60代……10位	●女性……7位
●30代……7位	●70代……8位	
●40代……9位		

30代と女性からの支持が厚い

Voter's Voice
つらい時も踏ん張る心強さを教わり、何年経っても私の背中を支えます(50代・女性)●強い牝馬はたくさん現れましたが、数々の実績は後世に伝わって長く残るべきだと思います(20代・女性)●エンターテインメントとしても至上的な名牝(20代・男性)●生で見た貴女の女神の様なオーラに圧倒されました(50代・女性)●これまでもこれからも、彼女が自分にとって最高の名馬であり、永遠のHEROです(30代・男性)

2004年4月4日生 牝 鹿毛
父タニノギムレット
母タニノシスター(父ルション)
馬主/谷水雄三氏
調教師/角居勝彦(栗東)
生産牧場/カントリー牧場
通算成績/26戦10勝(うち海外4戦0勝)
総取得賞金/13億3356万5800円
主な勝ち鞍/09ジャパンC(GI)
08・09安田記念(GI)
09ヴィクトリアマイル(GI)
08天皇賞(秋)(GI)
07日本ダービー(JpnI)
06阪神ジュベナイルフリース(GI)
07チューリップ賞(JpnIII)
馬名の由来/酒の一種



優馬 YUSHUN

BEST 9

All Time THE BEST 100 HORSES